

表紙解説：房総ゆかりの浮世絵

三代歌川豊国「近世水滸伝」のうち「井岡捨五郎」（学校法人城西大学水田美術館所蔵）

江戸時代末期の利根川下流域に実在した二人の侠客、現在の千葉県旭市飯岡の助五郎一家と東庄町笹川の繁蔵一家との勢力争いを題材にした物語「天保水滸伝」。江戸の講釈師宝井琴凌が天保15（1844）年に発表し、その後、歌舞伎、浪曲やがて映画ともなって大変人気を博した。その人気を承けて文久元～2年（1861～62）に制作された浮世絵「近世水滸伝」は天保水滸伝の侠客に「組定重治」（国定忠治）など上州あるいは甲州の人物を加えてシリーズとしている。現在26図確認されているが、いずれも侠客の半身像を当時人気の歌舞伎役者の似顔で描き、上部に戯作者・仮名垣魯文による略伝を添えている。表紙の一回「井岡捨五郎」（飯岡助五郎）の役者は沢村訥舛。略伝に「思慮深く才覚あるが上に力量つよく剣術柔術にも達したれば壮年より子分許多附従ひ皆親分を尊敬したる」という天保水滸伝の一方の雄の大物ぶりを、細面で月代も整った理知的な雰囲気顔だちに、波に鳥、碇の勇ましい文様の上着をはおった姿であらわす。三代豊国は初名を国貞といい、師・豊国の跡を継いで江戸末期の歌川一門の繁栄を導いた重要な画家。本図落款には文久2年に喜寿を迎えて名のつた「喜翁」という号がみえる。（門脇）

参考文献：『（展覧会図録）天保水滸伝の世界』（千葉県立大利根博物館、1993年）ほか。

発行日	2010年1月31日 城西国際大学 日本研究センター紀要 第4号
発行所	〒283-8555 千葉県東金市求名1番地 城西国際大学 日本研究センター TEL 0475-55-8800（代表） 日本研究センター URL http://www.jiu.ac.jp/japan/
編集	日本研究センター刊行物編集委員会
発行者	水田宗子
印刷所	株式会社 正文社 〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6 TEL 043-233-2235
